



江戸幕府最後の将軍・徳川慶喜も愛した、
弟・昭武が建てた徳川の住まいとお庭

戸定邸と庭園



松戸駅からほど近く、徳川慶喜よしのぶの弟・徳川昭武あきたけが建てた私邸。建物は国の重要文化財に、庭園は国の名勝に指定されています。徳川家の住まいとしては、国内で唯一、一般公開されています。「松戸の宝」ともいえる存在です。(戸定歴史館とじょうれきしかん) ☎ 047-362-2050

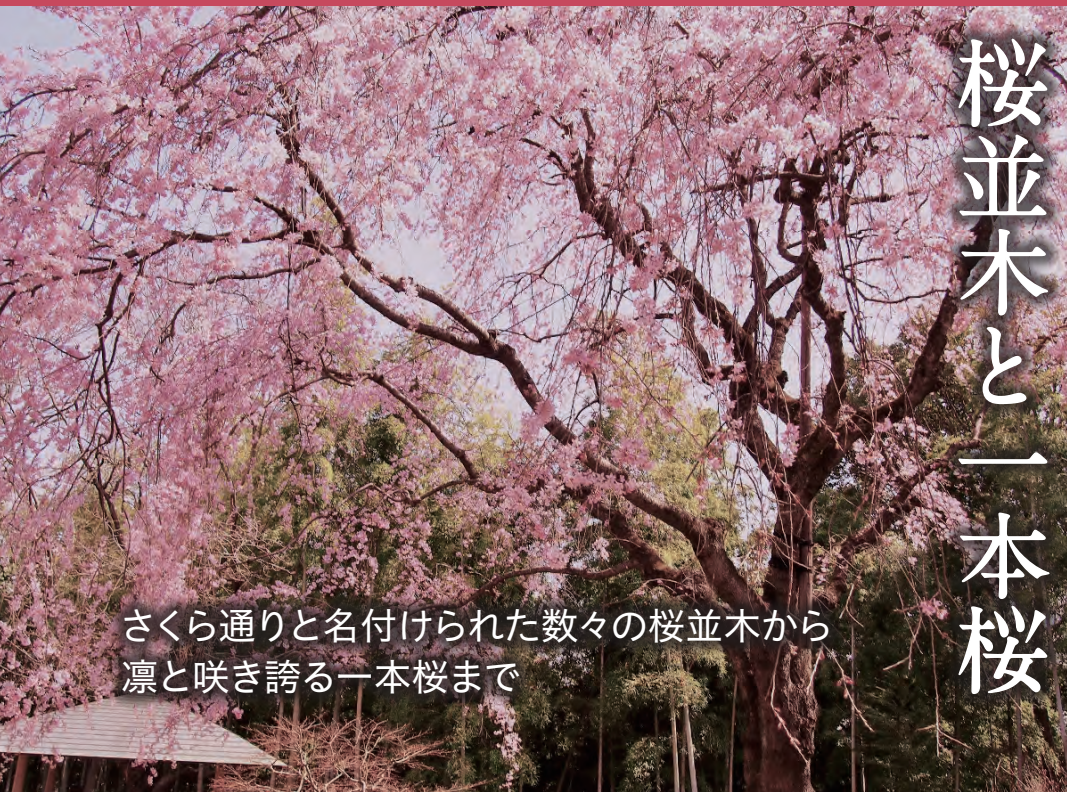
都心に近いのに

歴史が息づいています

徳川の住まい「戸定邸」をはじめ、江戸時代の宿場町の面影を残す場所、多くの人の手で守られてきた桜など、歴史や文化が今も大切に受け継がれています。



まつどは「歴史・文化を守っています」だから、やさしい



さくら通りと名付けられた数々の桜並木から
凜と咲き誇る一本桜まで

桜並木と一本桜

八柱・新八柱駅から常盤平駅前を通り五香駅へと約 3km も続く桜並木をはじめ、戸定邸やお寺などに咲く一本桜、川面を彩る桜など、大切に守られてきた数々の桜が春の松戸市内を彩り、各地で桜まつりが開催されます。

「まつどやさしい暮らしラボ」のホームページには、松戸を愛した故・馬場浩士さんが書いた《松戸は、実は『さくらの街』なのです!!》という記事があります。さまざまな表情に出会える松戸の美しい桜を、馬場さんが自ら撮影した写真とともに紹介しています。ぜひご覧ください!

